



八雲町立野田生小学校 校章

【校章の由来】

六角形の図案は、北国、北海道の雪の結晶を意味し、それを野田生の象徴である柏葉六枚で構成したものです。

柏葉は、昔から人間完成のための教育に広く引用されているものであり、六枚の葉をもって六つの教育目標を表現したものです。

色は、緑に葉脈を書き入れてありますが、緑の色は、平和・希望・理想・親愛・純情等を意味します。また、その中央のある六角形の図案は、校下六地区の融和を取り入れ、固く結ばれている有様を図案化したものです。中心は、「野田生」の文字と小学校の「小」の字が図案の中に表現されています。バックの紫の色は、全体をまとめる色だけでなく、高貴・永遠・優雅等の色のシンボルでもあります。

(作者：中野 寛先生の言葉より)